

# 釧路高専だより

2017 3

National Institute of Technology,  
Kushiro College

## Contents

- 2 卒業生・修了生に贈る言葉
- 3 卒業・修了おめでとう！
- 3 - 機械工学科
- 4 - 電気工学科
- 5 - 電子工学科
- 6 - 情報工学科
- 7 - 建築学科
- 8 - 専攻科
- 9 在校生からのメッセージ
- 10 退職に際して
- 12 デザコン in 高知  
冬季校内体育大会
- 13 道内高専寮生交流会  
道内外国人留学生交流会
- 14 学習支援センターの取り組みについて
- 15 2016 年度主な地域貢献活動のご紹介
- 16 行事予定

釧路工業高等専門学校

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号  
TEL (0154) 57-8041

<http://www.kushiro-ct.ac.jp/>

Vol.  
125



message to graduating students

# 卒業生・ 修了生に 贈る言葉

校長 岸 徳光  
（きし のりみつ）

釧路高専本科卒業そして専攻科修了の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。ご家族の方々におかれまして、立派に成長された皆さんの姿に、安堵と未来への確かな手応えを感じていると思います。

皆さんは、5年あるいは7年前に、普通高校に進学した友達よりも一足早く技術者になることを夢みて、本校の門を叩いたと思います。ここまでの道のりは、意外と平坦だった学生もいれば、苦勞に苦勞を重ね諸先生の指導の下、やつとの思いで卒業ある

いは修了に漕ぎ着けた学生もいると思います。

しかし、終わりよければ全てよしです。皆さんは、卒業あるいは修了に必要な所定の単位を取得し、それが認定されました。また、卒業研究や専攻科特別研究では、研究の「いろは」も教わりました。ものづくりは勿論ですが、技術革新や技術の高度化にも十分対応できます。自信を持って、この学舎を巣立ってください。そして、4月からは高専に入学した時よりももっと大きく夢を膨らませ、新しい人生を歩んでください。

ある人は技術者として社会人に、またある人は編入学で大学生に、そしてある人は大学院に進学し大学院生になります。勿論、専攻科生として釧路高専に残り、さらに高度な学問を身につける学生もおります。たとえどのような道に進もうとも、釧路高専での5年間あるいは7年間は、今後の人生の大きな拠り処になるはずです。

社会人になる皆さんに一言。高専卒OB・OGの努力により、皆さんは金の卵と言われ、手厚く扱われると思います。しかしながら、これまで経験したことのない世界に突入するわけですから、全てが順調に行くとは限りません。いかなる場合においても、期待を裏切らないように、一杯努力してください。そして、驕らず侮らず、分らないことがあれば、その都度着実に解決することを心がけて下さい。積み木と同じです。理解に抜けがあると必ず落とし穴が待っていますし、期待に添うことができません。上司に教えることができることも大いにあります。原

点帰帰で高専時代の教科書でおさらいすることも一つ。勿論、恩師に教えるを乞うこともOKです。

社会人になって重要なことがまだあります。一つは、会話能力の向上です。社会では必ずチームで仕事を行います。まずは、直属の上司や同僚としっかりコミュニケーションを取ることで、最低限が必要です。会社での家族みたいなものですので、良い仕事をするために積極的に会話をすることを心がけて下さい。その第一歩が、朝夕の挨拶でしょうか？そして、上司に対しては敬語を使うとともに、自らはへりくだることも忘れないように。親しき仲にも礼儀あります。

もう一つは報連相の実践です。報連相は「報告」「連絡」「相談」の意味です。報連相を怠った時のことを考えると、これらの行為が如何に重要かわかります。トラブルやミスが発生した時、遅刻をしてしまった時、難問にぶつかり作業が滞ってしまった時には、すぐに「報連相」を思い出して下さい。身を助けること間違い

なしです。

大学編入や大学院進学、専攻科進学学生に一言。皆さんに待ち受けている試験は、語学力の強化だと思います。今大学での国際力の加速にはめざましいものがありますので、当然日頃の講義の中でも益々英語力の向上が求められます。しかし、一朝一夕に上達しないのも英語力です。苦手意識を持つている学生は、与えられた機会を有効に活用し、逃げずにその場その場で継続して努力する以外に方法はありません。大学では、外国人留学生も沢山いると思いますので、積極的に友達になることも一つの方法です。

皆さんの原点は、釧路高専にあります。皆さんがこの地を巣立ち何処の地に行こうとも、母校は前途洋々として活躍している君たちを見守り、必要な時には何時でもお手伝いをします。夢の実現のため、勇気を持って大きな一歩を踏み出して下さい。



Department of Mechanical Engineering

## ～これまで、これから～

5年機械工学科

ふく 井 さとし  
福 井 聡

まず5年機械工学科は16人という少数のクラスです。少ない人数のクラスではありますが一人一人の個性が強く、笑い声のうるさい代表はじめ、チンパンジーやゲイ、マレーシアからの刺客にふわふわした姫、黒いコートに黒の革靴のブラック大月に毒のある女、前田先生とラブラブな辻くんがいたり、壇蜜大好き女の子のヒールに踏まれるのが夢と語るわれらの担任など、毎日が退屈しなく楽しい日々を過ごさせていたいています。5Mは紹介した通り非常に明るく先生にも評判のいいクラスだと自負しています。いつも笑顔が絶えず、時には笑い声が大きすぎたりするけどそこが5Mらしいというか。とにかくこのクラスにいてよかったとほんとに思います。

そして5Mは人数が少ないですが、その分1人1人が自分のやることをやり、何かの行事があるときにはみんなで一致団結し役割分担を的確に行ってやるべきことをしています。社会に出ても少人数で何かを任されることもあると思います。人数が少ないことをマイナスに考えず、プラスに考え行動し、1人1人が責任ある行動をして、社会に出ても恥じない心構えと責任感を持つて社会に出たいと思います。

## 卒業おめでとう

5年機械工学科担任

樋口 ひぐち

泉 いずみ

卒業したOBと話をしてみると、授業で教えた内容は忘れて、授業中に話した雑談の方をよく覚えていたようだ。授業内容は、体系として記憶されているからであろう。一方、雑談はピンポイントの記憶となっているからであろう。私の持ち話である雑談の中で、「象に踏まれるのと、ハイヒールで踏まれるのとどちらが痛いか」という問題がある。答えは、「どちらか骨が折れるほど痛い」であった。しかしながら、象の足の裏はスポンジ状に柔らかくなっているらしいので、そして多分、ヒールの先端の方ははるかに硬いので、ヒールで踏まれる方がちよつとは痛いと思う。そして、どちらで踏まれても痛いことに変わりはない、多分。卒業する皆さんが出ていく社会、というか正確には会社となるのだと思うが、これと同じようなもので、問題に遭遇した時に、かなり痛いだろうと思っても意外と痛くはなく、痛くはないだろうと高を括っているのと、とてつもなく痛い目に遭うことが多かった。再起不能になるのではないかと思われるほど落ち込む事もある。そんなときの有効な気分転換の一つは、一緒に学んだ同級生に「愚痴」を聞いてもらうことだと強く提言したい。そして、母校の教員は、あまり役に立たないことも付け加えておく。



Department of Electrical Engineering



## We are the World ～俺たちの青春～

5年電気工学科 かま だ こう へい  
鎌 田 幸 平

新人生の皆さん。こんにちば。

皆さんは5年なんて長いと思って  
いることでしょう。私もそうでした。  
しかし、5年なんて一瞬で過ぎ去っ  
てしまいます。本当にあっという間  
ですよ。ですから後悔しないように  
1日1日を過ごしてください。

誰かに披露したいけど隠してきた  
趣味とかありませんか。やってみた  
いけど、自分なんてって諦めていた  
人いませんか。どんどん試してくだ  
さい。そして失敗してください。何  
事も経験が大事です。はじめは失敗  
が続くかもしれません。5年は一瞬  
と言いましたが、何かを成し遂げる  
ことは必ずできます。はじめは色ん  
なことに挑戦して、最後にはこれだ  
と思うものに真正面から向き合っ  
てみるのも悪くないですよ。

正直に言うと、楽しいことばかり  
の5年間ではなかったです。苦しい  
こともたくさんありました。ですが、  
先輩や後輩、クラスメイト達と過  
した5年間は他では経験することが  
できない最高の5年間だったと断言  
できます。偉そうに言ってきました  
が、これが私の5年間で学び、感じ  
たことです。

あえて高専生活のことは言いま  
せん。これから皆さんが自分自身で  
この学校を見て感じて、1人1人が最  
高だったと思う5年間で創り上げ  
てください。

## 技術者として

5年電気工学科担任 高木 敏幸  
たかき としゆき

電気工学科の皆さん、ご卒業おめで  
うございます。また、保護者の皆様には  
謹んで卒業のお祝いを申し上げます。保  
護者の皆様におかれましては、お喜びは  
いかほどかと拝察いたします。

さて、アメリカにおいて新たな大統領  
が就任し、環太平洋戦略的経済連携協  
定の離脱、地球温暖化対策規制の反対、移  
民制限など、反グローバル主義的な大統  
領令が次々と発令されました。日本はも  
とより世界は、少し前までありえないこ  
とと一笑に付していたことが、可能性の  
一つとして考えなければならぬ混沌と  
した時代を迎えつつあります。しかし、  
どんな時代、情勢の中にあっても、技術  
者は「世界をより良くする」「価値ある  
ものを社会に届ける」ことは変わらない  
使命です。そして、自ら思い描いたこと  
を自分の手や仲間たちと作り上げ、それ  
を手に取った人の笑顔に触れたとき、技  
術者としての「やりがい」や「喜び」を  
感じることを思います。とはいえ、皆さ  
んは今、社会に飛び立とうとしているば  
かりの技術者です。しばらくは、今なす  
べきことを熱心に行い、その足許をしつ  
かり見据えて下さい。そして、そこから  
望まれる道に向かって果敢にかつ悠然と  
歩まれることを期待しています。



Department of Electronic Engineering

## 支えられた高専生活

5年電子工学科 なかむら 中村友哉



入学当初は5年生の威圧感に圧倒されました。体格の大きさ、大量の髭、赤髪、金髪。いつか自分は殺されるのではないかと、中学を卒業したての自分には恐怖でしかありませんでした。その恐怖感、校内の雰囲気、1発目の数学から三角関数など予想外なことが重なり、わずか1週間で「普通高行けば良かったな」と思ったこともあり。しかし、気づけば卒業です。なんだかんだ文句を垂れながらも生きていける力があるのが高専生と自覚しました。その中でも仲間がいたおかげで一緒に頑張れました。レポートを見せてくれる仲間、いつも笑わせてくれる仲間、一緒にいてくれる仲間、授業をサボり遊技場に連れて行くこととする仲間。知らない間にこんなにもたくさんの仲間ができていたのかと思います。今の自分がここまで来られたのもそんな仲間たち、両親、先生、部活の先輩後輩、研究室のメンバーの支えがあったからです。でも、少し心残りがあるのは、もっと仲間たちと遊べば良かったと思うことです。1年生からの5年間、朝から夕方までのフルコマ授業。60欠課まで許されている状況の中10欠課以内で抑えた年もあります。授業をサボることは良いことでは決してありません。ですがこういう面でも要領が良いのが高専生の強みであり、ずるさであると思います。先輩たちには短い5年間で密度の濃いものにしてほしいです。最後に「母さん5年間弁当ありがとう」。

## 卒業おめでとう

5年電子工学科担任 なかむら 中村 隆

5年電子工学科の諸君、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございます。

高専における5年間の学習は、長かったでしょうか。それとも短いものだったでしょうか。中学校を卒業したばかりの君たちが、期待に胸を膨らませ、不安を抱えて入学してから、今日の卒業に至るまでの、君たちの努力、身につけた知識と技術、育んだ人間関係、どれをとってもかけがえない貴重なものばかりです。実社会に出たならば、これまで以上に頑張らなければならない局面に立たされることが多いことでしょう。釧路高専で培った体力、知力、そして人間関係がきつと役に立つはずです。常に前向きに、あきらめることなく、自分を信じ、仲間を信頼し、実力を発揮してください。

戦争の世紀と呼ばれた20世紀が幕を閉じ、平和の世紀への期待とともに始まった21世紀前半の世界は混沌に満ちていると感じます。政治、経済、そして技術までもグローバル経済の荒波の中で、翻弄されています。その荒波に立ち向かい、技術立国日本の再建を担うのは君たちです。20世紀の技術立国日本は、日本経済を確固としたものとするに貢献しました。21世紀の技術立国日本は地球を救うためにあるのだと思います。これからの君たちの活躍に期待しています。



Department of Information Engineering



## 私たちのクラス

5年情報工学科 木村 元

情報といえば、授業中は先生の声だけが教室に響き、休み時間もスマホを弄って誰一人喋らない。学校祭や体育大会も消極的、目立ちたがらない、などが典型的である。だが、私たちのクラスはそうではなかった。

遅刻した学生が犬の被り物をつけてくる、教室の窓から雪面にダイブする、授業で使った1台50万円のロボットを2台壊してしまったこともあった。他にもここには書けないような悪行は数知れず。教師陣から「あのクラスの担任はやりたくない」と言われるのも、思い返せば納得だ。学年が上がればそんな横暴は少なくなったといえ、先生方には本当に申し訳ないことをしたと思っている。

これを書くにあたり、5年間の思い出を振り返ってみたが、とても短く感じ、あつという間だったというのが率直な感想だ。このクラスだからできた体験や思い出ばかりで、このクラスであったことを誇りにさえ思う。私はこのクラスを一生忘れることはないだろう。

最後になるが、授業を受け持っていた先生方、共に過ごしてきたクラスメイト一同に心から感謝する。ありがとう。

いや、できてないって

5年情報工学科担任 高橋 晃

最近のCMで気になっていることがあります。『できるって素晴らしい』というやつ。あれを見る度に『いやいや、できてないから』と突っこんで家族に呆れられています。もちろん、バーチャリアリティの技術は医療や教育など、多くの様々な問題を解決することを可能にする大切な技術であり、情報工学を学ぶ私たちは、その発展に寄与することができる今を生きていることは幸運であり、大きなチャンスでもあると思います。しかしあのCMを見る度に私は光瀬龍の50年前のSF、萩尾望都の漫画で知られる『百億の昼と千億の夜』の中のゼン・ゼンシティ市民の世界（全てバーチャルで管理された世界、市民はカプセルホテルのような空間が与えられ、幸福な夢を見て過ごすだけの世界）を思わずにはいられません。それは現代では技術的には可能になりつつありますが、何よりそれをよしとする人々が多数派ではという恐怖が感じられるのです。技術を学んだ皆さんは、バーチャルな『デキル』に引きこもることなく、本当にできることをリアルな世界で阿修羅のように積み重ねてほしいと思います。活躍を期待しています。卒業おめでとう。



Department of Architecture

## うちのセンターは阿部

5年建築学科 ふじ 藤 井 南 帆



2年になったぜここは2建  
混ざるな危険のこの面子  
これが基本だ建築概論  
慣れない製図に手が付けられない  
足りない面積 忘れる和室  
にぎるベンシル設計演習  
トラ柄クラTこわばる顔色  
止まらぬ不評におさらばとわに

3年になってメンバーに変化  
連帯感まだ生まれてないや  
CADの凄さ感じる春だ  
デリートひとつで消えるよ全部  
時間短縮まるでトリック  
構造力学 電卓活躍  
公式覚える夜中の2時  
時間足りずに自暴自棄  
次はきちんと計画的に

4年になったら大人になった  
こらでだんだん仲良くなった  
研修旅行で 高まる感情  
寺にタワに明治村  
雨降り金閣早歩き  
ひたすら作った段ボで家具  
苦勞儂く 一瞬解体  
レポート放置で遊び放題  
後で後悔 瀕死状態  
なんとか進級 先生サンキュー

そんなこんなで5年になった  
決まるよ進路増えるよ筋力  
エースの本気で野球優勝  
みんなで踊って驚いた  
まさかの学祭、後夜祭  
卒研大詰め締切目前  
できるか卒業だせるか製図  
まもなくさよならさみしいな  
みんなで留年それもあり

### 贈る言葉

5年建築学科担任 佐藤 彰治

皆さん、卒業おめでとうございます(この原稿の執筆は1月ですが、5 A 24人全員無事卒業できたと信じています)。この2年間担任を任せましたが、今思えば、すでにクラスづくりは終わっており、担任としては皆さんに何もしてあげられなかったように思います。思い起こせば、学科が確定した2年次には、若干やんちゃな複数の留年生と合流したこともあり、さぞ戸惑いや不安が多かったことかと推察しています。この5年間(または6年間)、様々な苦難?を乗り越えて今日の卒業を迎えた学生も少なくないはずです。

さて、必ずしも団結力の強いクラスではありませんでしたが、昨年の学校祭におけるフリーパフォーマンスにおいて、クラス全員が揃ってダンスを披露してくれたことについては、本当に感動モノでした。これから自立して社会生活を送る中で壁にぶち当たった時、かつての仲間が存在が掛け替えのないものに感じることでしよう。ですから、これからの仲間との交流を大切にしてください。

一つ忠告。在学中に使用した専門書は捨てずにとっておくこと。卒業は「ゴール」ではなく「スタート」です。勉強をし直すことが必要な場面が必ず来ます。卒業後の近況報告を楽しみに待っています。また逢う日まで。

## 卒業前に色々あった7年間に思うこと

まつり 祭 藤 遠 建設・生産システム工学専攻2年

入学した当時はこの学校に7年もあることになるとは思っていませんでした。

全てが新しかった1年生。各学科に分かれ専門教科が入ってきた2年生。この初めての専門教科である工業力学は皮ジャンを着て普段見ない色のフレームのメガネをかけたW先生に教えてもらうことになりました。まず、最初の授業で中学数学のテストを受けるように言われ、自分の基礎が不安になり「小学校6年間の算数を6時間でわかる本」と「中学3年間の数学を8時間でやり直す本」を買いに走りまわりました。ここが機械工学科学生のスタートになった気がします。今までのようにただ教えてもらうのではなく、自分から行動し、わからないところは聞きに行くことにしました。待っているのは誰も教えてくれないことに気づけたからです。W先生ありがとうございました。

そして学生生活最大の山場である「機械創造設計」が4年次にやってきます。共同研究の難しさ、学んできた様々なことをフル活動させて一つのものを作り上げていくことの難しさを痛感しました。本当にきつく最後の課題は泣きながら提出しました。この経験があつて、その後の学生生活でどんなに辛いことがあつても、あの時よりは辛くないと思えるようになります。

その後、専攻科に進学しました。電子情報システム工学専攻には1年生の時間じだった友人もいました。共通の授業の勉強と一緒に、できない科目を教えてもらうことで何とか専攻科生活を乗り越えることができ、2段階学科選択制度も悪くないと思いました。4月からは茨城大学大学院理工学研究室に進学します。今まで高専で学んできたことを生かして新たな学校で頑張りたいと思います。



## 卒業・修了おめでとう！

## 長い高専生活の終わり

あさ 浅 野 裕 也 電子情報システム工学専攻2年

本科と専攻科をあわせて7年間を修了した私達の忍耐強さと頑張りには驚かされます。高専へと入学したとき、一番長く通うのは小学校だろうと思っていたのは私だけではないはずです。しかし、気がつけば本科を卒業し専攻科を修了する私たちが一番長く通ったのはこの鉋路高専でした。

課題の提出やテストでの黒点が共通の目標で、いわゆる「オタク系」や「ウェイ系」と呼ばれるであろう者たちが混在し、大半の学生が大楽毛という境地、敷地内の寮生活を強いられるこの狭いコミュニティの中にいるわけですから、多少のズレを感じ、度々衝突することもありました。しかし、自分とは違うベクトルを持ちながらも頼れる仲間として助け合いながら無事に専攻科修了までたどりつくことができました。鉋路高専であつたからこそ作ることができたつながりも沢山あつたと、そして高専は将来像を作るとても有意義な場所だったと強く感じています。

これからは進学して学生を続ける者や社会人となる者と、それぞれ道が分かれるときです。専攻科を修了し共に学んできた私たちは、ここで身につけたことを最大限に生かし活躍できると信じています。

最後になりますが、専攻科の修了を迎えることが出来たのは真摯に私達を支えてくださった皆様のお陰であります。この場をお借りして、お礼の気持ちをお伝えいたします。本当にありがとうございました。



## 「ふつう」という幸せ

専攻科長 草 苺 敏 夫

3月11日で、東日本大震災から6年目となり、熊本地震から1年になるうとしていますが、いまだに多くの方が、仮設住宅に住み、故郷に戻ることもできず、将来に不安を残しながら不自由な生活を送っています。被災された方からは、今の時期こそ「ふつう」に生活を送ることの幸せを感じたことはないという言葉を聞きます。被災した経験のない我々にとつては、何も変化のない毎日に愚痴をこぼしていますが、「ふつう」の日常生活こそが最高の幸せかもしれません。

これから皆さんは、大学院でさらに学問や研究を続ける人、社会の一員として仕事に就く人、それぞれで道は分かれますが、新しい環境の中で「ふつう」に生活できることに感謝してください。そして、ここまで支えてくれた両親や家族に感謝してください。

現在はグローバル化が進み、技術開発も世界的規模で行われていますが、技術への過信は、人間本来の心を失わせ、時に人を苦しめる物を生み出します。皆さんが専攻科で身に付けた多くの知識と技術は、決して人を不幸にするためのものではありません。人が「ふつう」に生活できる日常をいつまでも維持するために役立ててほしいと思います。

## ご卒業おめでとうございます

～在校生からのメッセージ～

### 卒業生のみなさんへ

4年電気工学科 成 田 陸 斗



5年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

僕たち在校生は5年生のみなさんに本当に感謝しています。勉強を教えてもらったり、進路について相談に乗ってもらったりと色々していただきました。本当にありがとうございます。

行事では毎回毎回盛り上げていただいて、本当にありがとうございます！体育大会ではカッコいい姿を見せてくれました。最後の冬季体育大会では、選手宣誓が面白くて笑わずにはいられませんでした(笑)。フットサルとバスケのシュート、バレーのスパイク、新競技でのタイヤフラッグや鉛探し……全部かつこよかったです！

高専祭のフリーパフォーマンスでは面白く、なおかつクオリティの高いものに感動しました！もういちど5年生のパフォーマンスが見たいと思います。

振り返ってみると、5年生のいる行事が当たり前で、今の5年生がいらない行事が正直盛り上がるのかわかりません。ですが、それは今の4年生がちゃんと盛り上げるので心配いりません。5年生のみなさんよりも行事を盛り上げてみせます。高専祭を見に来てください！

僕たち在校生は5年生のみなさんが教えてくれたもの、かつこいい姿、面白い姿を忘れません。これからは僕たちが釧路高専をよりよい学校にしていきたいと思います。

5年間闘ってきたレポートや赤点は無駄ではないはず。勝ち抜いた先輩方にはきつと怖いものはないと思います。

卒業した後、明るい未来に向けて頑張ってください。新しい場所での活躍を祈っています。そして、たまに高専に帰って来て、先輩方のお話を聞かせてください！

5年間お疲れ様です。そして、ありがとうございます！



任しました。  
路を車で走ると、牧草地に牛や馬  
が全く本土と異なり、フロリダに

れ、カッコウが鳴いているのは、  
ると「さて、今年の真夏はいつだっ  
地元の人が快適な28度で「暑い、  
ている感覚には驚き。蝉も蝸も鳴  
マイナス15度、20度が当たり前。  
に「今日は15度ありますね」の会  
初めて釧路の越冬を経験した3月  
始めた時は「暖かくなった」と感  
路は札幌より新鮮な食材がそろっ  
ん。初めて本物の一夜干しのシ  
ました。何もかも新鮮な経験で

画、年度計画にグローバル化、  
から国際交流委員会が発足した  
ました。国際交流推進校は仙  
の交流を進めながら、まずは  
学大学との学術交流協定の締  
ジアの大学との交流を推進す  
工科大学との交流協定の締  
実績は、これまでに30名の  
路高専学生を海外大学に派  
派遣学生の人数が伸びない

ムに適用する半導体遮断  
た、高専発宇宙開発を目  
立上げ、衛星地上局の設  
た。今後は再雇用でし  
研究も継続します。  
ですが、本校の国際交  
や在外研究をとおして  
ニングポイントとし  
化包容力・寛容力の  
性の醸成であると考  
てみてください。

電気工学分野

のぐち  
野口 孝文 先生



釧路高専を私が知ったのは、私が高校受験をする少し前のことです。  
当時高専の受験倍率は3倍を超えており、受験を考えましたが、思い  
直し近くの高校を受験しました。再び高専の名前を聞いたのは、高校  
の授業で「アナログコンピュータ」というものに触れたときです。ア  
ナログコンピュータは、高次の微分方程式を瞬時に解くことができる  
計算機です。そのとき数学の先生が、高専にはこれよりも10倍以上  
高性能なシステムがあると、話されていたのが今でも印象に残ってい  
ます。それから、10年ほど後に釧路高専に赴任するわけですが、さす  
が高専です。電気工学科には大型のアナログコンピュータが2台もあ  
りました。ただすでにそのときは、アナログコンピュータの時代が終  
わり、デジタルコンピュータの時代になっていました。  
ものづくりの好きな私にとって高専は素晴らしい環境でした。校内  
には、様々な電子部品や材料があり、また計測器や工作機械もたくさ  
んあります。時間もたくさんあるし、当時出始めのパソコンの最新機  
種も研究費で手に入れることができました。しかし、学生時代から「君  
は、押せば動くが止めると止まるトロッコ（エンジンのつかない線路  
の上で使用する台車）だね」と恩師から言われたとおり、工作やプロ  
グラムが好きな学生といっしょに学校祭で紹介するような装置を作っ  
て満足していました。  
転機は10年ほど経ってからです。それは、当時校長の永田先生から  
研究をきちんとやりなさいと言われ、また電気工学科の支援もあり、  
10ヶ月間北海道大学へ内地研究員として派遣されたことです。大学は、  
先端のコンピュータと新しい技術や研究の文化があり、ものづくりの  
好きな私にとって刺激的な場でした。幸い私は、25年以上同じ研究テー  
マで継続的に研究を推進することができました。釧路高専に戻ってか  
らは、減速はしてきていますが、周りの皆さんの叱咤激励もありトロッ  
コを前に進めています。そして、終着駅も間近に見えてきたところで  
す。トロッコを前に進めるには、楽しいことを目的にするよりも、や  
らざるを得ない状況を自ら作ることが効果的というのが実感です。ま  
た、ぶれずに継続することも重要と思います。  
釧路高専における教育と研究の環境は、私が採用されたときと大き  
く変革していますが、良い方向へ向かうと確信しております。  
4月からも、短時間勤務ですが続けてお世話になりますので、よろ  
しく願いいたします。

学生課

やまがた  
山方まさこ  
昌子

看護師

着任したのは、平成20年4月。毎日毎日、健康な学生さん達がとてもまぶしく感じ、前職との違いを感じたと同時に、学生の健康を守りたいと強い気持ちを抱きました。

この9年間ぎっしりと濃厚なものとなって、ひとつひとつすべてが一番の思い出となりました。今、懐かしい思い出が走馬燈のように駆け回っています。

学生を色々な方向から見つめ、「優しさ」「思いやり」を心がけ、「個」を大切に真剣に関わり、そこから何が一番正しいのかを自分に限りまで考え精一杯やってきました。

時が流れ、いつしか夏季休暇時期と企業説明会時期に保健室に立ち寄る卒業生で賑わうようになりました。社会人として立派に成長したまぶしい姿に感動し、立ち寄ってくれたことに感謝し、我が子に逢えたような喜びになります。

昨年の卒業式、1学年の時から保健室を訪れていた女子学生から、ひまわりがいっぱい咲いた絵はがきをいただきました。同年10月、女子学生から元気な声が届き、ひまわりの花言葉「あなたを見つめる」を知り、「いつも見つめてくれてありがとう」と感謝のメッセージだったことを知りました。

また、この度私の退職を知った在校生とその保護者は勿論、卒業生とその保護者から多くの温かい感謝や労いの言葉をいただき、とても嬉しく思いました。

このように、9年間を振り返ってみると、改めて精一杯やってきたことが評価されたと受け止めています。

4月に新しい看護師を迎え、当面2名体制で業務に当たりますのでよろしくお願いします。

学生さんへ  
これからも保健室でお逢いしましょう。

教職員の皆さまへ  
教職員の皆様からアドバイスやサポートをたくさんいただいたことに感謝申し上げます。

電気工学分野

こまつ  
小松まさあき  
正明 先生

2010年の9月に、JAXAから着釧路は初めての地で、広い道がいて、湿地帯があって、景色よく似ていることに驚きました。

7月になると白樺の林に霧が流まるで軽井沢。毎年、8月末になたのだろうか」が共通の話題に。暑い、だから夏は嫌い」と言っかない夏は初めてでした。冬はこちらの人はマイナスを付けず話にはまだついていけません。未、氷点下0度の天候で雪が融けじた自分にびっくり。また、釧ていて、こんな贅沢はありませんシャモを口にしたときは感激した。

着任当時、釧路高専は中期計国際交流推進を掲げていたことばかりで、早速、委員を拝命し台高専が先輩校で、仙台高専とフィンランドのトゥルク応用科結に漕ぎ着け、その後は東南アべく、タイのキングモンクット結に至りました。交換留学生の海外学生を受け入れ、23名の釧遣しています。受入学生に比べ、のは残念です。

研究面では、直流給電システムの研究を推進しています。ま指して、宇宙科学技術研究会の計・開発と運用を進めてきましたばらく残りますので、これらの

最後に皆さんへのメッセージ流に期待するものは、海外留学自分を見つめなおすこと、ターての海外留学・研究であり、異文育成、フレキシビリティ、多様えます。是非、一度、海外に出

## デザコン2016を振り返って

4年建築学科  
板屋 春輝

第13回目となる全国高等専門学校デザインコンペティション（通称：デザコン）が高知高専の主管により、高知県高知市において12月17日・18日の2日間に渡り開催されました。

今大会ではメインテーマである「はちきん」と「いごっそう」（土佐弁で一途な女性と頑固な男性の意味）の精神を生かし、高専生ならではの「こんなあり？」と批評される破天荒で独創的な発想と成果物を求められました。そして本選では、このテーマのもと構造デザイン部門、空間デザイン部門、創造デザイン部門、AMデザイン部門、そして今年度から新たに追加されたブレデザイン部門の5部門に分かれ、それぞれに定められたテーマに沿って技術やアイデアが競われました。

このうち釧路高専からは構造部門に1作品のみ出場しました。今回は総合デザイン研究会に所属する4年生以下6名が参加し、そのうち4名が3年生以下となっています。これは、来年度以降の大会に向けて後輩を育成する目的で選ばれました。デザコン初出場のメンバーが多かったため、今回の参加

を機にこれからの作品制作のモチベーションを上げてくれたらいいと思います。

今年は、岐阜県岐阜市において「デザコン2017 in 岐阜」が開催されます。自分にとっては高専生活最後のデザコンとなるので、悔いの残らないように全力で取り組んでいきたいと思

います。



## 冬季校内体育大会



男子バスケットボール



フットサル



女子バレーボール



男子バレーボール



雪上運動会



## 道内高専寮生交流会

4年電子工学科 ひらかわ 平川 たいせい 泰成

交流会は9月1日～2日の開催予定でしたが、たび重なる台風の影響で交通網が寸断され、開催が1月7日～9日になってしまいました。

本校から4名(男子2名・女子2名)が参加し、函館高専から2名(女子)、苫小牧高専から3名(男子1名・女子2名)、旭川高専から3名(男子2名・女子1名)の計12名による交流会となりました。

今年度は釧路高専が当番校でした。開催時期がずれたので、進行役の寮生会役員は選挙後の新役員が担当することになり、少し緊張しました。

交流会の日程は2泊3日でしたが、1日目と3日目は移動日なので、2日目が交流の中心となります。交流会の主な流れは、各高専の寮の現状を10分程度にまとめた発表に続き、事前用意した協議



した。そして最後に施設見学で締めくくりました。

生活ルールや組織運営などがそれぞれの高専で違い、参考となる点が多々ありました。今後の寮運営に役立てて行きたいと思います。実は、施設見学を終えた交流会2日目の夕方に、少しだけ時間をとって体育館でバレーボールを楽しみました。球技を通して一緒に汗を流すことも楽しい交流でした。

夕食後には宿泊施設が同じだった留学生交流会(道内高専28名の留学生)と合同で懇談会を行い、楽しい時間を過ごしました。

## 道内外国人留学生交流会

4年建築学科 ニューン チヴォアン

平成29年1月7日(土)に山花温泉リフレで開催された「北海道内高専外国人留学生交流会」に参加しました。毎年行われているこのイベントの目的は異文化交流と留学生のふれあいなので、多くの留学生と教職員と各高専の寮長と副寮長の数人の日本人の高専生が参加しました。

今回の交流会は2泊3日で行われました。私は今回の交流会が2回目の参加です。一番思い出になったのはアイヌ民族の踊りと、留学生と合同の懇談会です。

1日目の7日(土)に各高専生たちが山花温泉リフレに到着したのは17時でした。その後、18時ごろ開式があって挨拶や自己紹介などがありました。夕食のときは学生たちと教職員が楽しく笑顔で美味しい食事を食べたり、他の高専生と教職員とお話したりして、本当に幸福な雰囲気になりました。

2日目の8日(日)は山花温泉リフレで朝ご飯を食べた後、バスで阿寒湖畔スキー場へ移動しました。私は10時半から15時半までずっと友達とスノーボードをやりました。その日は日曜日だったので、スキーとスノーボードを楽しむ学生たちや家族の方々がたくさんいて、とてもにぎやかな雰囲気でした。その後、留学生たちが全員、阿寒アイヌシアターに移動しました。そこでは、アイヌ民族の歴史を勉強するチャンスになりました。いろいろな話が聞



けましたが、一番印象に残ったのはエッサーホーホーという踊り比べでした。留学生たちもエッサーホーホーをやり、本当に楽しかったです。その日の夜は、夕食の後、懇談会があって、ビンゴをやってから留学生たちと日本人学生たちと明るく笑顔で記念写真を撮影しました。翌日(1月9日)、朝ご飯を食べて解散となり、皆さんが温かい雰囲気と笑顔で各高専に戻って行きました。

交流会は2泊3日でしたが私はまだ短いかと思います。まったりと楽しい時間を過ごすことができて、本当に参加してよかったと思います。来年の交流会も楽しみにしています。

# 学習支援センターの取り組みについて

学習支援センター長 近藤 浩文

学習支援センターは、主に二つの支援を目的とし、今年度4月に設置されました。

一つは、入学時に不足して

いる学力を補い、専門的な学習の基盤となる「数学」と「物理」の基礎的な学力を身に付け、自主的に学ぶ姿勢や毎日の学習習慣を確立するための支援、もう一つは、数学に関する高度な学習内容とおして技術者に必要な「自らアイデアを創造する力」を身に付けるための支援です。

具体的な活動には『数学相談室』の開室、『特別補習』および『特進学習』の実施などがあります。

『数学相談室』は、全学年を対象として毎週月曜日・木曜日の放課後に開室し、専任の教員が数学に関する質問や相談に応じるほか、自学自習のための学習スペースとしても利用できるようにしています。

『特別補習（略称：SSL）』は、1学年において、試験の結果等により選抜した学生を

対象とし、毎週火曜日の放課後に物理、金曜日の放課後に数学の補習を実施しています。

実施形態は、専任の教員による一斉指導のほか、問題演習の際には支援教員を加えた複数教員による個別指導を行い、できるだけ一人一人の学生に対応できるようにしています。また、専任の教員が制作した「問題の考え方や解法を解説した動画」を、学生がタブレットPCを用いて自分に合ったペースで視聴しながら理解を深めることができる学習方法や、主体的に学ぶ姿勢を身に付けるために有効なアクティブラーニングの視点を取り入れたグループ学習など、先進的な取組を積極的に行っております。

『特進学習』は、数学に関する高度な内容の学習を希望する学生を対象とし、毎週月曜日・金曜日の放課後、難関大学受験用の通信添削教材を利用したゼミ形式の授業を実施しているほか、高校生向け

の全国模試や実用数学技能検定の受験、数学オリンピック予選への参加などをおし、さらなる学力の向上を目指しています。

高専生は、学問の本質を深く学ぶことができる恵まれた環境にいます。学生の皆さんには、本校入学を志した時の初心を常に思い起こし、夢に向い精一杯学業に励んで欲しいと思います。



# 2016年度主な地域貢献活動のご紹介

## 今年度は こんな活動をしました

### エンジニアクラブ (小学5年生～中学2年生対象)

ものづくりと科学講座を1年間楽しめて毎年好評です。2016年度はマールマシン座(流体と渦、建物と地震、光の色、モーター、デジタル信号など)を実施しました。保護者の方にも驚きと発見があるようで、親子で楽しく参加いただいています。



### チャレンジ! ジュニアラボ (小中学生対象)

毎年様々なテーマで実施していて大人気です。2016年度は「タブレットで二輪走行ロボットを制御しよう!」「テクノアートラボ 2016 part2 ～ゆらゆら光るオリジナルランプを作ろう～」など11講座を実施しました。



### 出前授業 (小中学校対象)

小中学校の児童・生徒や先生に好評です。高専ならではの機械などを使用したり、高度な内容の授業が行われるため毎年依頼が来る小中学校もあります。  
2016年度実施地域: 釧路市, 根室市, 帯広市, 標茶町, 浜中町, 標津町, 小清水町, 興部町, 清水町, 鶴居村



### 公開講座 (市民対象)

普段はできない勉強やものづくりができるため、毎年楽しみにしてくださる受講者がいます。釧路市内以外には札幌や帯広で実施しました。2016年度は、「タブレットで組み込みプログラミング入門」「役に立つ作業療法士の話と簡単な介助補助具(爪切り)を作ろう」や、1日で複数講座受講できる「釧路高専オープンセミナー秋季スペシャル」を実施しました。



その他にも、出前ものづくり体験教室を幕別町と音更町で実施したり、サイエンス屋台村やご当地ブランドフェスティバルなどに出展しました。



## Schedule

3月18日(土) 卒業証書授与式・修了証書授与式

4月5日(水) 入学式・編入学式

4月6日(木) 開寮日(2年～5年)  
新入生オリエンテーション(～10日(月))  
専攻科ガイダンス  
健康診断(～10日(月))  
特別時間割(～10日(月))

4月7日(金) 始業式

4月24日(月) 学生相談ガイダンス(1年)  
開校記念日(通常授業)

5月2日(火) 金曜授業

5月3日(水) 閉寮日

5月7日(日) 開寮日

6月2日(金) 前期中間試験(～8日(木))

※1、2年生は6月5日(月)～8日(木)